

# 参考資料 (調査票)

## 「当面する課題に関する調査研究」に係るアンケート調査 実施要項

### 1 調査の目的

当面する課題として、持続可能な社会づくりに関わる学習活動の在り方について北海道内の市町村における取組の実態を整理し、今後の北海道並びに市町村の生涯学習及び社会教育の振興に寄与することを目的に本調査を実施する。

### 2 調査対象

北海道内各市町村教育委員会（179市町村）

### 3 調査方法

調査票によるアンケート形式の自記式調査法

### 4 調査内容

別添調査票とする

### 5 調査期間

平成29年9月29日（金）～10月13日（金）

### 6 調査票の配布・回収にあたっての依頼事項

#### <各教育局>

- ① 各市町村教育委員会への「調査票」、「実施要項」等の配布
- ② 各市町村教育委員会からの「調査票」の回収
- ③ 「調査票」の本庁への送付（集計は不要です）

10月18日（水）までに、「調査票」を下記担当へ送付してください。

#### <各市町村教育委員会>

- ① 生涯学習・社会教育担当職員による回答
- ② 調査票の返送

10月13日（金）までに、調査票を各教育局あて返送してください。

### 7 調査集計結果について

道教委HP及び報告書等で公表予定です。

◆ 本調査についての問い合わせ先 ◆  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目  
北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課  
生涯学習センターグループ（担当：尾山）  
TEL：011-204-5782 FAX：011-261-7431  
E-mail：oyama.seiryu1@pref.hokkaido.lg.jp

## 地域づくりの担い手育成に関する調査

### 【調査票】

#### 【記入の際の留意点】

- 回答は、貴市町村教育委員会の生涯学習・社会教育担当職員(社会教育主事等)が代表して、調査票に御記入ください。なお、「市町村名」「記入者職名・氏名」を忘れずに御記入ください。
- 設問には、回答を1つ選択、複数選択又は、記述で回答していただくもの、また、設問により、次の設問を指示しているものがありますので、注意して回答してください。

#### 【調査票の返送】

- 調査票は、記入漏れがないことをお確かめのうえ、平成29年10月13日(金)までに、各教育局宛にメール(本調査票(Excel形式添付))で御回答ください。

#### 【調査結果】

- 本調査の結果は、下記調査実施機関で集計・分析し、平成29年度末に発行予定の調査研究報告書に掲載します。なお、御回答いただいた調査内容については、個人情報等、適切に取り扱い、研究目的以外で使用することはありません。

#### 【調査実施機関・問い合わせ先】

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課生涯学習センターグループ  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階  
TEL : 011-231-4111 (内線36-328) FAX : 011-261-7431  
担当 : 尾山 清龍  
e-mail : shougai.12@pref.hokkaido.lg.jp

#### 【基本情報】

市 町 村 名	
所属部局担当課	
連 絡 先	TEL FAX
	e-mail

#### 【記入者について】

職 名 ・ 氏 名	
社会教育行政の経験年数	約 年
社会教育主事任用資格の有無	有 ・ 無

I 貴自治体の地域づくりの担い手及び担い手の育成の状況についてお伺いします。

◇「地域づくり」とは

地域住民が、学習を通じて知識や技能を身に付けるとともに、市民性を備え、地域の課題解決や様々な地域活動等に参画していくこと(H28.5.30 中教審答申)

◇「地域づくりの担い手」とは

上記「地域づくり」を進める地域人材

問1 貴自治体において地域づくりの活動を行っている団体等がありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

↓ 当てはまる番号を記入してください。

回答欄

【問1で「1 ある」と答えた方のみお答えください。】

問1-1 上記について、係・担当として活動していることを確認している団体等の数はそれぞれいくつですか。

回答欄 数を記入してください。↓

子ども会、PTA、趣味・学習サークル等、構成員の学習・向上を主とする団体	
青年団体、女性団体等、構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体	
体育・レクリエーション等の振興を図る団体等、もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体	
自治会(町内会)	
地域課題に取り組むNPO、ボランティア団体等	
市町村社会福祉協議会等社会福祉関係団体	
社会教育委員の会、生涯学習審議会等	
専修学校、大学等	
その他	

問1-2 問1-1で回答したそれぞれの団体等が行っている活動について、該当する内容当てはまる番号を記入してください。1つの団体が複数の活動を行っている場合は、それぞれの活動を含めた数で考え記入してください。

- 1 ほぼ全ての団体が活動を行っている
- 2 半数以上の団体が活動を行っている
- 3 割合は少ないが活動を行っている団体がある
- 4 活動を行っている団体はない

回答欄 それぞれの内容に当てはまる番号を記入してください。↓

防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動	
高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動	
学校行事の支援、子どもや若者の育成活動	
スポーツや学習の支援や指導などに関する活動	
祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動	
「インターネット上のホームページやブログなどを活用した地域の魅力の情報発信活動」、「地場製品の開発、販売、宣伝活動」、「観光客の受入れ、おもてなし、案内などの活動」、「商店街の活性化など地域おこしに関わる活動」	
川や海、森林など地域の自然環境を保全する活動	
山村留学、島留学、農山漁村体験などの他地域との交流活動	
地域における都市計画づくりなど、まちづくりへ参画する活動	
その他	

その他の内容

問1-3 上記団体等と教育委員会が連携した事業はありますか。

- 1 ある
- 2 ない

↓ 当てはまる番号を記入してください。

回答欄

問2 首長部局で地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業を行っていますか。

- 1 行っている  
2 行っていない  
3 わからない
- ↓ 当てはまる番号を記入してください。
- 回答欄

【問2で「1 行っている」と答えた方のみお答えください。】

問2-1 地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業を行っている部局はどこですか。以下の部局について、当てはまる番号を記入してください。

- 1 行っている  
2 行っていない  
3 わからない  
4 部局がない

当てはまる番号を記入してください。↓ 回答欄

総務・企画部局	
保健福祉部局	
子ども福祉部局	
環境部局	
観光部局	
産業部局	

問2-2 上記部局と教育委員会が連携した担い手育成を目的とした事業はありますか。

- 1 ある  
2 ない
- ↓ 当てはまる番号を記入してください。
- 回答欄

## II 貴教育委員会の地域づくりに関する事業の状況についてお伺いします。

問3 地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業を行っていますか。

- 1 行っている  
2 行っていない
- ↓ 当てはまる番号を記入してください。
- 回答欄

【以下問3-1から3-4まで、問3で「1 行っている」と答えた方のみお答えください。】

問3-1 以下の項目について地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業数を記入してください。該当しない項目には「0」、該当する項目には事業数を記入してください。なお、対象別の事業数については該当する項目が複数ある場合があるのでその場合はそれぞれの項目でカウントしてください。

回答欄 「0」または事業数を記入してください。↓

地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業の数	
--------------------------	--

対象別事業数		
基準とした分類	乳・幼児対象	
	小・中学生対象	
	高校生対象	
	一般成人対象	
	子育て世代(PTA等)対象	
	高齢者対象	

活動内容を基準とした分類	防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動に関わる個人・団体等対象	
	高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動に関わる個人・団体等対象	
	スポーツや学習の支援や指導などに関わる個人・団体等対象	
	祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動に関わる個人・団体等対象	
	情報発信活動、地場産品の開発、観光局の受け入れ、地域の活性化などに関わる個人・団体等対象	
	その他の活動に関わる個人・団体等対象	

※ 例えば、1つの事業の対象がライフステージの分類では「小・中学生」と「子育て世代」、活動内容の分類では「地域活動に関わる団体」だった場合、これら3つの項目それぞれに1がカウントされます。



問3-4 事業を開催するにあたり、それぞれの対象の事業に対し団体等やそのキーパーソンとどのような関わりを持っていますか。当てはまる番号を記入してください。

構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体

もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体

構成員の学習・向上を主とする団体

- 1 企画から参画してもらう団体等がある
- 2 参加を強く呼びかける団体等がある
- 3 事業の開催案内をする団体等がある
- 4 どの団体等にも特に何もしていない

※ 該当する番号が複数ある場合は、若い番号を記入してください。

子ども会、PTA、趣味・学習サークル等	青年団体、女性団体等	体育・レクリエーション等の振興を図る団体等	自治会（町内会）	地域課題に取り組みNPO、ボランティア団体等	社団法人関係団体	市町村社会福祉協議会等社会福祉会等	社会教育委員の会、生涯学習審議会等	専修学校、大学等	参加者	地域づくりの担い手育成事業の	その他
---------------------	------------	-----------------------	----------	------------------------	----------	-------------------	-------------------	----------	-----	----------------	-----

基準とした区分	乳・幼児対象	小・中学生対象	高校生対象	一般成人対象	子育て世代(PTA等)対象	高齢者対象						

活動内容を基準とした区分	防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動に関わる個人・団体等対象	高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動に関わる個人・団体等対象	スポーツや学習の支援や指導などに関わる個人・団体等対象	祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動に関わる個人・団体等対象	情報発信活動、地場産品の開発、観光局の受け入れ、地域の活性化などに関わる個人・団体等対象	その他の活動に関わる個人・団体等対象						

回答欄↑それぞれの項目に該当する番号を記入してください。

※項目は全て埋めてください

【問3で「2 行っていない」と答えた方のみお答えください。】

問3-5 地域づくりの担い手育成を目的の一つとした事業を行っていない理由は何ですか。理由を以下から選択し、該当する項目に「1」を記入してください(複数回答可)。なお、その他を選択された場合は、その内容を記入してください。

回答欄 ↓ 該当する項目に「1」を記入してください

他の事業・業務が多いため	
他の部局で実施しているため	
住民等のニーズがないため	
以前行っていたが参加者がいなかったため	
その他	

その他の内容

### Ⅲ 社会教育担当者と地域づくりに関係する団体・機関及び育成事業の参加者等 (以下、「団体等」とする)との関係についてお伺いします。

問4 以下項目の団体等との「連絡をとる機会」や「直接会う機会」について、それぞれの項目に当てはまる番号を記入してください。

- 1 すべての団体等が該当する
- 2 半数以上の団体等が該当する
- 3 割合は少ないが該当する団体等がある
- 4 該当する団体等はない

	連絡を取る機会			直接会う機会			
	合頻つてい連絡を取り	りほとんどの連絡を取り	まららないにも当ては	に会せほとまど	ほ議る機とらち	ぼ等会い顔に	ぼ等会い顔に
子ども会、PTA、趣味・学習サークル等、構成員の学習・向上を主とする団体							<p>回答欄 ←それぞれの項目に当てはまる番号を記入してください。</p> <p>※項目は全て埋めてください</p>
青年団体、女性団体等、構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体							
体育・レクリエーション等の振興を図る団体等、もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体							
自治会(町内会)							
地域課題に取り組むNPO、ボランティア団体等							
市町村社会福祉協議会等社会福祉関係団体							
社会教育委員の会、生涯学習審議会等							
専修学校、大学等							
地域づくりの担い手育成事業の参加者							
その他							

問5 以下の団体等との関係についてそれぞれの項目に当てはまる番号を記入してください。

- 1 すべての団体等が該当する
- 2 半数以上の団体等が該当する
- 3 割合は少ないが該当する団体等がある
- 4 該当する団体等はない

	雑談をよくする	りがある	SNS等でのつながり	団体の主催する活動に参加する	絡が来り	困りごとがある	相談を受けると連	役員の後継問題等の	会議の進行等の相談	の相談を受ける	会の経理等について	いほとん
子ども会、PTA、趣味・学習サークル等、構成員の学習・向上を主とする団体												<p>回答欄 ←それぞれの項目に当てはまる番号を記入してください。</p>
青年団体、女性団体等、構成員の学習・向上とともに対外的な社会教育事業を行う団体												
体育・レクリエーション等の振興を図る団体等、もっぱら対外的な社会教育事業を行う団体												
自治会(町内会)												
地域課題に取り組むNPO、ボランティア団体等												
市町村社会福祉協議会等社会福祉関係団体												
社会教育委員の会、生涯学習審議会等												
専門学校、大学等												
地域づくりの担い手育成事業の参加者												
その他												

#### IV 「学び」と「活動」のつながりの構築の工夫についてお伺いします。

問6 担当者として行っている「学び」と「活動」のつながり構築に向けた工夫について行っているものに「1」記入してください。

回答欄 ↓ 該当する項目に「1」を記入してください

<育成事業の企画・運営に係る工夫>

「地域を好きになる学び」を行っている	
「行動につながる学び」を行っている	
「成長・発展に向けた学び」を行っている	
事業の企画に「ターンによる移住者やUターンで戻ってきた人」に入ってもらっている。	
経済活動を視野に入れた事業を進めている	
多様な主体と連携した事業を進めている	
事業の中に人が集う場を設定している	
過去の参加者に企画段階から参加してもらっている	
参加者同士の仲間意識の醸成(共に〇〇する等)を行っている	
参加者同士の連絡体制の整備(SNSグループの作成等)を行っている	
参加者の有志を集めての茶話会を行っている	
学習や活動を行う人を孤立させないように配慮している	
事業を実施する中で、今後活動の核になりそうな人材を探している	

<日常の取組での工夫>

自治会の活動に参加している	
社会教育関係団体等の主催する活動に参加している	
学習や活動の核になってほしい人とつながりを作っている	
同じ方向性をもつ人同士を見極め、引き合わせている	
社会教育関係団体等の中心的な役割を担う人物とつながりを継続させるようにしている	
活動を始めたばかりの団体等に対して活動場所等を支援している	
社会教育委員と日常的に交流している	

<その他の工夫>

--